２０２４年４月改訂（第３版）

貯法	室温保存、密封容器

動物用医薬品

承認指令書番号	２動薬第２２８１号
販売開始	２０２１年８月

犬用ペニシリン系抗生物質製剤

要指示医薬品　指定医薬品

アンピクリア™注

【本質の説明】
本剤は、アンピシリンナトリウムを有効成分とする注射剤です。アンピシリンナトリウムは、広い抗菌スペクトルをもち、グラム陽性菌及びグラム陰性菌に殺菌的に作用します。溶解液として日局注射用水又は日局生理食塩液を用い、水に溶けやすい製剤です。

【成分及び分量】
本品１バイアル中

有効成分	含量
アンピシリンナトリウム	１ｇ（力価）

【効能又は効果】
有効菌種：本剤感性の次の菌種；大腸菌、黄色ブドウ球菌、シュードモナス（ただし、緑膿菌を除く）
　適応症：犬；細菌性皮膚感染症

【用法及び用量】
本剤は、用時、日局注射用水又は日局生理食塩液を用い、１g（力価）当たり５mL に溶解し、１日１回体重１ｋｇ当たりアンピシリンとして２０ｍｇ（力価）を２～３日間皮下に注射する.。

【使用上の注意】
（基本的事項）

1　守らなければならないこと
（一般的注意）
・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
・本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。

（取扱い及び廃棄のための注意）
・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
・本剤は溶解後できる限り速やかに使用すること。保存する場合でも、冷蔵保存で、６時間以内に使用すること。
・小児の手の届かないところに保管すること。
・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2　使用に際して気を付けること
（使用者に対する注意）
・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
・本剤は抗生物質であるため、皮膚炎などのアレルギー症状を起こすことがある。よって取扱いに際しては、眼や皮膚に付着しないよう注意し、付着した場合は、直ちに水で洗い流すこと。

（犬に関する注意）
・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（専門的事項）
①　対象動物の使用制限等
・本剤は過敏症反応をまれに起こすことがあるので、投与前に使用経歴や反応の有無を調べ、陽性動物には投与を避けること。
②　重要な基本的注意
・本剤はペニシリナーゼ産生菌には通常奏効しないので、この場合は他の薬剤を使用すること。
・本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めること。
③　副作用
・本剤投与後、ショック症状や過敏症反応が現れた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

【製品情報お問い合わせ先】
リケンベッツファーマ株式会社　梅田工場
〒１２３－０８５１　東京都足立区梅田１-２９-１２
ＴＥＬ：０３-５８８８-６０４４

製造販売業者　リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html）にも報告をお願いします。